

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	◎	百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、12月のグランドオープン控え、更に多くの来客を見込んでいる。また、観光客も戻ってくると思われる。
	◎	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきており、今後再拡大しなければ人々の購買意欲も戻り、状況は各段に良くなると思う。
	◎	都市型ホテル（経営者）	・いろいろな場面で人の動きが良くなっていると感じる。
	◎	通信会社（社員）	・ワクチン接種率の上昇により感染の危険性が低くなり、全体的に人の動きが活発になると予測している。
	◎	美容室（経営者）	・第6波が来なければ12月には、新型コロナウイルス発生以前の動きが戻ってきそう。
	◎	設計事務所（所長）	・特に多くの食品関係企業で設備投資が始まっている。
	○	商店街（事務局長）	・ワクチン接種が大幅に進んで感染や重症化のリスクが下がったことで外出も可能となり、生活上の安心感は高まった。年明け以降のブレイクスルーを含めた感染拡大を抑えるため、早めに3回目のワクチン接種をスタートさせることが安定した消費回復の鍵となる。
	○	商店街（代表者）	・年末年始のイベント等は予定どおりに行われる見込みである。補正予算で新型コロナウイルス対策関連予算も十分確保されているため、もう少し消費マインドが回復すれば徐々に景気が良くなっていくと思う。
	○	百貨店（企画担当）	・第6波を予想する人も多く、まだまだ慎重な姿勢が続く。
	○	スーパー（企画担当）	・更に価格上昇が進み、単価上昇の流れは変わらない。冬ボーナスが見込まれることから外食などへの流れがみえてくる。
	○	コンビニ（商品担当）	・ワクチン3回目接種等で、海外のようにイベントやレジャー、観光で人通りが戻ると推測する。
	○	衣料品専門店（経営者）	・秋冬らしい気温になってきて、新型コロナウイルスも落ち着いてきているため、年末にかけて景気回復が期待される。
	○	衣料品専門店（営業責任者）	・現状のように感染が抑制できているなら客足は戻ってくると思うが、客は旅行や消費にまだ慎重になっている様子がうかがえる。今よりは回復するだろうが、厳しい状況は続くと考えている。
	○	家電量販店（店員）	・冬のボーナス商戦や季節商材で販売数増加が期待できる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの飲み薬が出れば、全体の景気が上がる。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・現状のまま年末まで続くことを期待している。
	○	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況の改善により、個人の旅行需要は一定程度回復する。
	○	旅行代理店（営業担当）	・県民割の再開や、エリアを拡大する都道府県も徐々に出ていく。
	○	通信会社（営業部長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、市民活動が活発化している。
	○	通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言解除後の動向に期待したい。
○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が収束傾向なのか、客の動きは回復気味である。年末商戦に向けて期待したい。	
○	競輪競馬（マネージャー）	・ワクチンの2回接種率が高くなり、3回目の接種も検討されており、感染防止対策の継続的な実施とともに安心感が徐々に広がりつつある。これにより経済活動の上昇が見込め、景気高揚へとつながる。	
□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少傾向は続いているが、今後果たして第6波が来るのかは誰も予想できない。一刻も早く収束してほしいが、今のところ状況の推移を見守るしかない。	
□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・昼間の予約は入ってきているが、夜の街関連の注文が極端に少ない。元に戻るのはまだまだ時間が掛かりそう。	
□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が随分減少し、少しずつ活気が戻っているようだ。しかし身の回りは、行動を控え、消費者の財布のひもは固いことから、景気の落ち込みはまだ続くと思う。	

	□	コンビニ（店長）	・このまま回復してほしいが、新型コロナウイルスの感染が落ち着くとは思えない。10月からたばこのほか各種値上げが迫っており、生活費の圧迫が懸念され、消費が上向きかは不透明とみる。
	□	コンビニ（総務）	・感染状況が収まってもコロナ禍以前には戻らない。ニューノーマルによる変化に対応しながら企業努力を続けないと、業績は取り戻せない。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・部品不足がしばらく続くため、今後の見通しは厳しい。
	□	乗用車販売店（従業員）	・受注はまずまずだが、半導体不足が解消されない限り売上にはつながらない。
	□	その他専門店〔酒〕（経営者）	・忘年会を中止する企業が多く、売上増加は見込めない。
	□	一般レストラン（経営者）	・長引く自粛生活から、脱外食がなじんできているように思う。新型コロナウイルスの影響で収入が減って、当店のような客単価の高い焼き肉店は敬遠している方が多いのではないかと。
	□	タクシー運転手	・このまま新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、年末にかけて景気は良くなるかもしれない。新薬の承認が下りると更に人出は多くなると思う。
	□	タクシー運転手	・忘年会シーズンが近づいてきた。新型コロナウイルスの感染状況が抑えられたまま年末を迎えることができれば、街はにぎわうと思う。ただ、冬は遍路客の仕事がなくなるので、現状が続くと思う。
	□	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況の小康状態が継続するかどうか見通せない。
	□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減り続け、今後増えなければ良くなると思うが、まだ分からない。
	▲	商店街（代表者）	・短期的には景気は良くなる要素は見当たらない。総選挙後の政治体制も不安要素の方がはるかに大きい。新型コロナウイルスや自然災害は今後も避けられないため、国も地方自治体も街づくりを「発展」から「安全主導型」に発想転換しなければ、地方都市は維持できないのではないかと。
	▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染症が収束すれば、人々の意識や生活が元に戻り、巣籠り消費の恩恵もなくなり売上が低下すると思う。
	▲	スーパー（店長）	・今後も飲食や観光に関する消費は活発になり、コロナ禍前の消費パターンに戻ると考えられる。
	▲	スーパー（財務担当）	・これまでは外食需要を取り込んできたが、新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、客は再び外食へ戻っていく。
	▲	コンビニ（店長）	・自宅近くでの消費から、通常の消費に変わるのではと感じている。
	▲	家電量販店（副店長）	・緊急事態宣言が解除され、経済正常化の話も出始めたが、今後も来店客の増加はないように思う。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・燃料が大幅に値上がりしているため、今後大幅に収益が悪化していくと思われる。
	▲	乗用車販売店（役員）	・半導体不足の影響が薄れていくと回復は早いと思うが、今のところネガティブに考えている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、年内は悪いままだと思う。
企業 動向 関連 (四国)	◎	税理士事務所	・選挙もあるが、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少することで購買意欲が増し、経済が回る。
	○	繊維工業（経営者）	・コロナ禍で抑えられていた消費行動が活発になってきているが、不要不急のものには手は出さない消費者心理は続いている。また、在宅時間が増えたことによる健康志向の高まりなど、従来と異なる傾向がみえる。新しいニーズに対応できれば状況は改善される。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・大手ハウスメーカーの契約棟数が大きく伸びており、今後も受注数に期待ができる。引き続き新型コロナウイルス感染が落ち着いていくことを希望する。
	○	鉄鋼業（総務部長）	・受注量が回復したことで生産量、販売量も回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス発生前の水準までは回復していない。
	○	輸送業（経営者）	・第6波次第だが、ゆっくり良くなると思う。
	○	通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が抑えられているため、レジャーやイベント関係の広告増を期待したい。

	○	広告代理店（経営者）	・ワクチン接種率上昇等に伴い新型コロナウイルス新規感染者数が大きく減少傾向にあるため、若干イベントの再開や、客から広告受注も見込まれる。
	□	農林水産業（職員）	・今後の感染状況は見通せないが、海外の事例から人流の拡大と感染拡大の相関関係が明らかになっている。新型コロナウイルスの影響で失業や所得減少がみられるなか、日配品や燃料の値上がりが家計に響いている。生活スタイルも巣籠り化が定着してきており、これが以前の状態に戻ることは現実的ではない。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・除菌や掃除用のウェットクリーナーの需要は高いが、供給も高く、売上は横ばい。今後、新型コロナウイルス感染が落ち着いてくると、売上が下がるかもしれない。
	□	化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの感染状況が良くなる一方、原油やナフサ単価は高騰している。今後もこの傾向が続くと思う。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・社会全体として新型コロナウイルス感染症は収束ムードへ向かっており、人々の支出も回復している。今後大幅に良くなるとはまだ言い切れないが、しばらくは現状が続くと思う。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・保冷庫が必要なワクチン需要や、世界的な新型コロナウイルスの感染状況がみえないことから、市況は不安定である。
	□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第なので何ともいえない。これから迎える冬季は感染拡大が見込まれており、見通しが立たない。ただし、本業の景気は悪くないことから、変わらないと評価する。
	□	建設業（経営者）	・今後の公共事業の出具合による。
	□	輸送業（営業）	・行動制限等の緩和を受け、荷主への営業活動再開などプラス面が期待できる一方で、燃料油価格の高騰が経営を大きく圧迫する要因となっている。物流事業者はいまだ予断を許さない状況に置かれている。
	□	輸送業（経理）	・海外向け輸出が好調な企業の出荷計画は引き続き順調だが、国内向けが中心の企業の出荷計画は調整もあって不調のままの状態にある。
	□	通信業（総務担当）	・このまま新型コロナウイルスの新規感染者数が低い水準にとどまれば、状況は改善することが期待できる。しかし現時点では見通しが立てにくい。
	□	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着きつつあるが、ワクチン接種が進んでいるものの依然として第6波への警戒感は根強い。経済活動の回復には更に一定期間を要するものと認識している。
	▲	一般機械器具製造業（経理担当）	・市場マインドは上向きつつあるが、新型コロナウイルス感染症の影響及び世界的な電子部品供給不足等による部品調達の遅滞、原材料価格の高騰など不確定要素が多く懸念される。
	×	—	—
	◎	—	—
雇用 関連 (四国)	○	人材派遣会社（営業担当）	・コロナ禍で採用を抑えていた企業の採用活動が活発になると見込まれる。
	○	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は落ち着いてきており、製造業などでは景気が回復する兆しもある。派遣依頼の増加に期待したい。
	○	求人情報誌（営業）	・周囲の企業の状況から、各業種において求人数が少しずつ増加する見込みである。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数減少により企業活動が再開し始めてきていることから、良くなると期待したいし、そう努めていく。
	○	職業安定所（求人開発）	・10月1～19日まで当県独自の新型コロナウイルス対策は「感染警戒期」に緩和、20日以降は最低ランクの「感染縮小期」になり、落ち着きをみせている。それに伴い飲食業や宿泊業が通常営業になったため、やや良くなると判断する。
	○	民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルスの影響はかなり軽減しており、今後はサービス業を中心に回復していくと予想している。
	○	学校〔大学〕（就職担当）	・全国的に新型コロナウイルス新規感染者数が大きく減少し、落ち着いてきている。
	□	—	—
	▲	—	—
	×	—	—